

FVI「声なき者の友」の輪  
Friends with the Voiceless International



2024年 春号

URL : <http://www.karashi.net/>

### “多様性”を失うことは絶滅の危機

聖徳太子が制定した十七条憲法の第一条に記されている「以和爲貴」（和を以て貴しとなす）は、“調和”を重んじるという美しい日本文化を作り上げると共に、同調圧力を正当化する「出る杭は打たれる」という側面ももたらしました。

「赤信号みんなで渡れば怖くない」（禁止されていることであっても、集団でならば心理的な抵抗もなく実施できてしまう）という奇妙な“常識”が蔓延る社会を作り上げてきたことも否めない事実です。

共通の遺伝子を持つ可能性が高い血縁婚が繰り返されると遺伝的疾患の頻度が高まることが指摘されていますが、同様なことが社会にも言えるかと思えます。

皆が同調して周りの人々と同じことを考え、前例に従い行動し続けてしまう社会は、強い外圧（自然災害や技術革新など）が襲って来ない限り、近親婚と同様な弊害をもたらし、イノベーション（革新的な技術や発想により新たな価値を生み出し、社会を大きく変革すること）が生まれ難くする危険を孕んでいます。

報道を検証することもせず鵜呑みにして「事実」として受け取り、「ひと様の目」を神のようにして自分を周りに合わせて同調し付和雷同する姿は、新約聖書・マルコによる福音書5章に記されている断崖絶壁の崖に集団で向かって突進して行く豚の群れの姿と重なるようにも思えます。

「変えてはいけないもの」は堅持し、自分に与えられた使命に向かってぶれることなく突き進みながら、これまで“常識”とされてきたことをゼロから疑ってみませんか？

「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。」（マタイ 7:13）

「声なき者の友」の輪 神田英輔

\* FVIの働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。